

平成26年3月期
決算説明会資料

平成26年6月9日

 **英和株式会社**

Progressive Fusion

(東証二部 9857)

企業概要	・・・	P.3
平成26年3月期 連結決算概要	・・・	P.7
平成27年3月期 連結計画	・・・	P.17
中期3カ年経営計画	・・・	P.20
営業施策 注力商品	・・・	P.25
参考資料	・・・	P.30

企業概要

企業概要(平成26年3月31日現在)

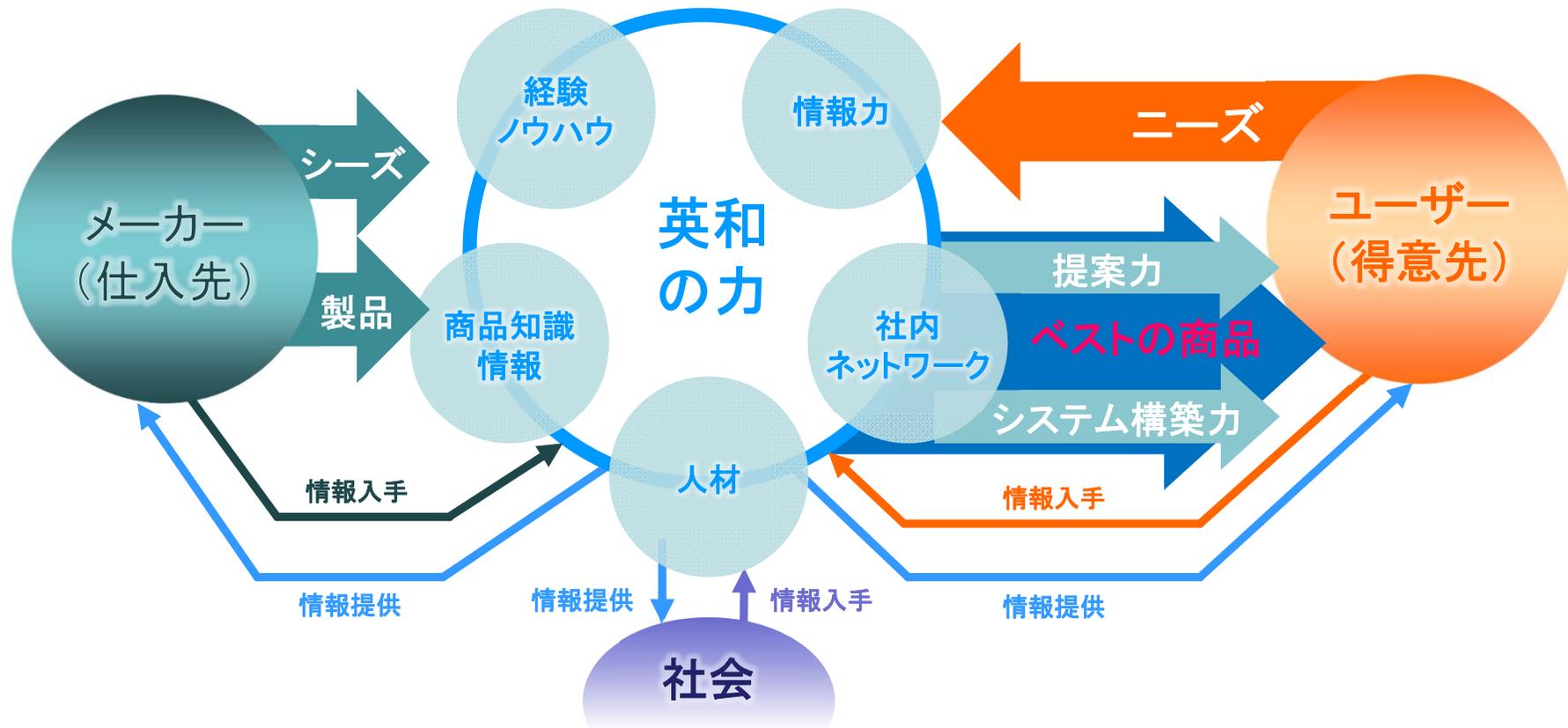
商号	英和株式会社(EIWA CORPORATION)
創業	昭和22年6月15日
代表取締役社長	阿部 健治
本社所在地	大阪府大阪市西区北堀江四丁目1番7号 東京都品川区西五反田一丁目31番1号(日本生命五反田ビル10階)
資本金	15億3340万円
連結従業員	285名
上場市場	東京証券取引所 市場第2部(証券コード:9857)
国内営業拠点	35カ所
連結子会社	4社:双葉テック(株)、エラン(株)、東武機器(株)、 英和双合儀器商貿(上海)有限公司
事業内容	◆工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、 産業機械の販売 ◆以上の物の輸出入代理業務、仲立業、賃貸業、古物売買業 ◆上記製品にかかわる施工、修理業務

あらゆる顧客や業界に、4分野の商品を幅広く展開



ビジネスモデル

- ◆ユーザーとメーカーを繋ぐインターフェース企業
- ◆英和だからできる『ベスト』を常にユーザーに
- ◆ノウハウの蓄積と更なる進化が英和の力
- ◆英和の力を形にする人材を目指す



平成26年3月期 連結決算概要

平成26年3月期業績

(単位:百万円)	平成25年 3月期	平成26年 3月期	前年同期比	平成26年 3月期	計画比
	実績	実績	増減率	計画	達成率
売上高	26,908	30,446	+ 13.1%	28,000	108.7%
営業利益	567	677	+ 19.3%	610	111.0%
経常利益	569	713	+ 25.2%	610	116.9%
当期純利益	312	376	+ 20.5%	317	118.9%
1株当たり利益(円)	49.39	59.49	+ 20.4%	—	—
総資産	17,446	20,350	+ 16.6%	—	—
純資産	6,859	7,190	+ 4.8%	—	—
自己資本比率(%)	39.3	35.3	▲ 4.0	—	—

決算の概況

- プラント・エンジニアリング、化学品製造業、船用機器製造業、電力・鉄鋼業等の既存事業領域で設備更新投資が回復し、工業用計測制御機器、環境計測・測定検査分析機器、産業車両等主要取扱商品の売上が一様に伸びた他、メガソーラー関連付帯機器の販売も好調に推移。
- 中国現地法人及び平成25年10月より連結子会社となりました東武機器(株)の好業績も寄与。

品目別売上高推移

(単位:百万円)	平成24年3月期		平成25年3月期			平成26年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
工業用計測制御機器	15,327	54.6%	14,482	53.8%	▲ 5.5%	15,846	52.0%	+ 9.4%
環境計測・分析機器	2,262	8.1%	2,167	8.1%	▲ 4.2%	2,529	8.3%	+ 16.7%
測定・検査機器	1,551	5.5%	1,536	5.7%	▲ 1.0%	1,812	6.0%	+ 18.0%
産業機械	8,946	31.9%	8,722	32.4%	▲ 2.5%	10,257	33.7%	+ 17.6%
合計	28,087	100.0%	26,908	100.0%	▲ 4.2%	30,446	100.0%	+ 13.1%

工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

取扱い商品一例

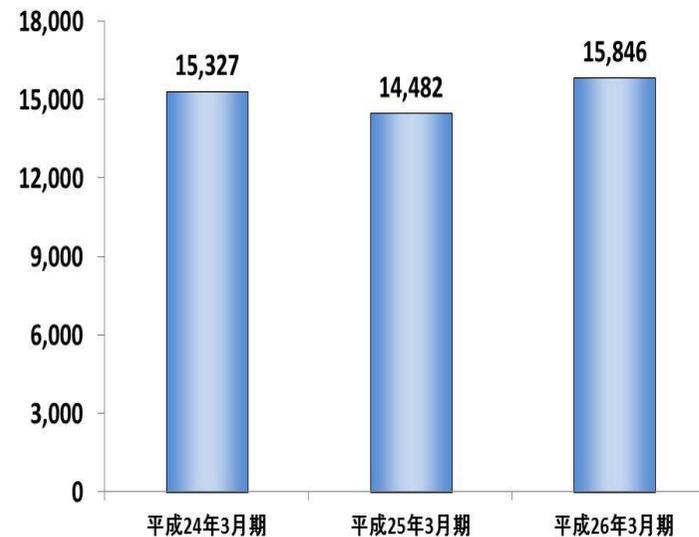


電波レベル計



記録計

(単位:百万円)



【増減理由】

電力業界向けが低調に推移したものの、化学品製造業や鉄鋼業の定修案件が伸長した他、プラントメーカー経由の各種設備更新案件が堅調に推移しました。また、船用機器・機械製造業向けの工業用センサーも好調で、前年同期比9.4%増となりました。

環境計測・分析機器

『身近なところから地球環境保全』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆水質・ガス・大気分析機器
- ◆気象観測機器
- ◆振動・騒音・臭気測定機器

取扱い商品一例

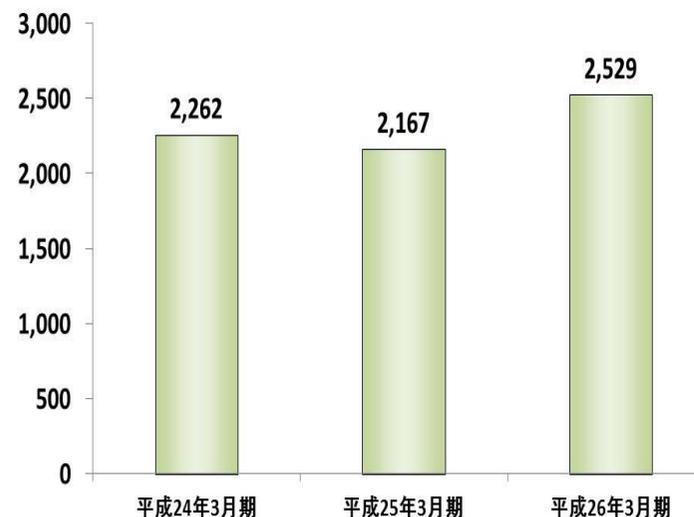


複合ガス検知器



地震計

(単位:百万円)



【増減理由】

顧客の環境配慮への意向も高く、各業界とも堅調に推移し、中でも石油化学業界での水質・ガス・大気分析機器や振動測定機器の販売は好調でした。公共案件として貯留槽設備やダム監視設備の更新も獲得し、前年同期比16.7%増となりました。

測定・検査機器

研究開発や製品の検査を
確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器
- ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器
- ◆電力監視機器・システム

取扱い商品一例

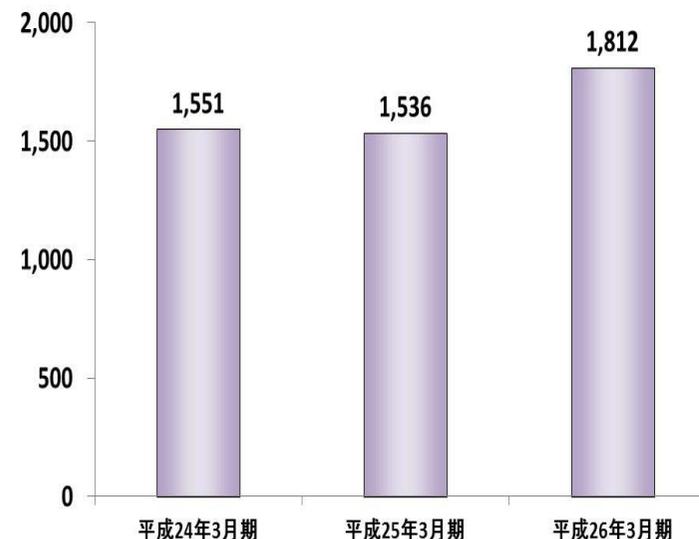


工業用ビデオスコープ



輪郭形状測定器

(単位:百万円)



【増減理由】

自動車製造業向けに検査装置や超音波画像診断システムの大口受注があり、また、フィルム製造業向け検査機の販売が伸長し、前年同期比18.0%増となりました。

品目別売上高

産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

取扱い商品一例

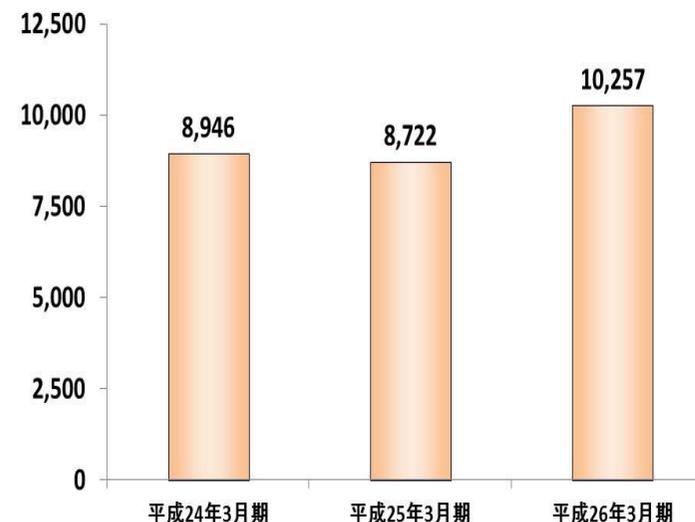


ポンプ



路面清掃車

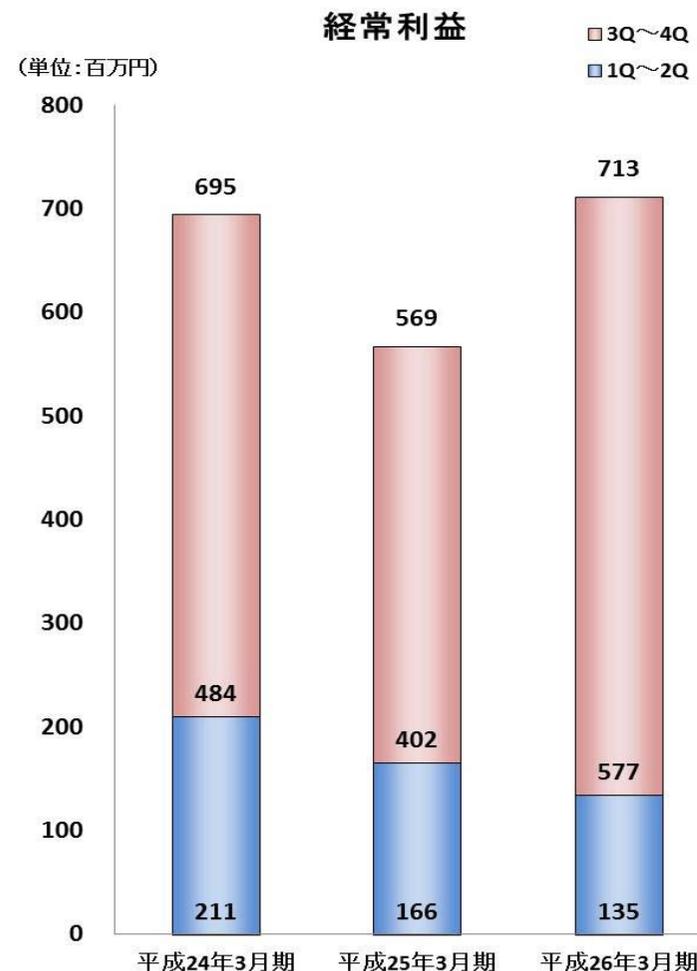
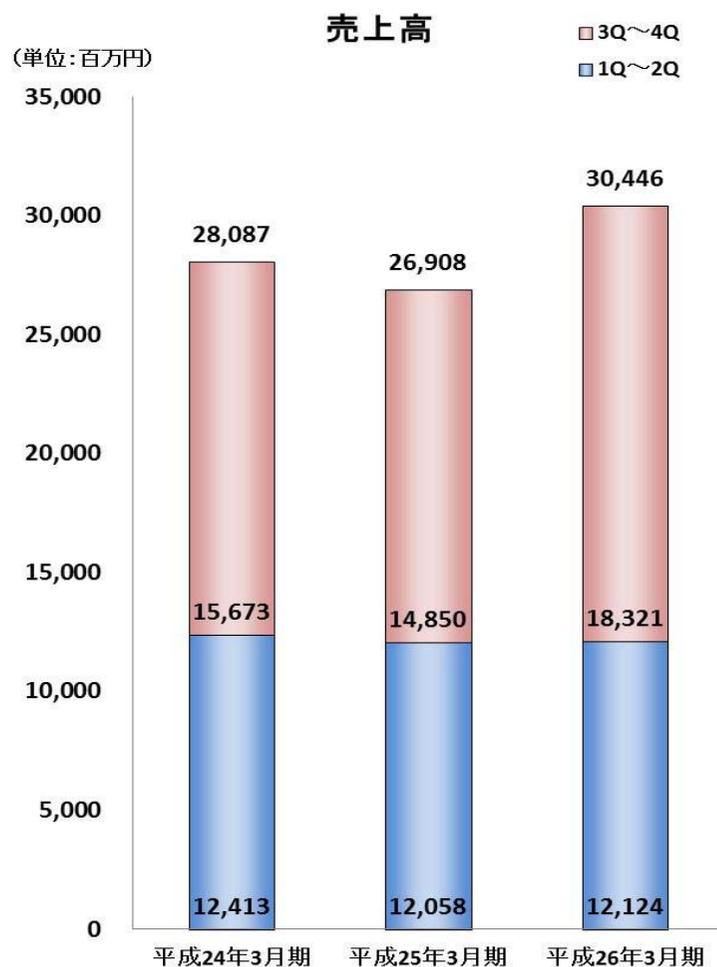
(単位:百万円)



【増減理由】

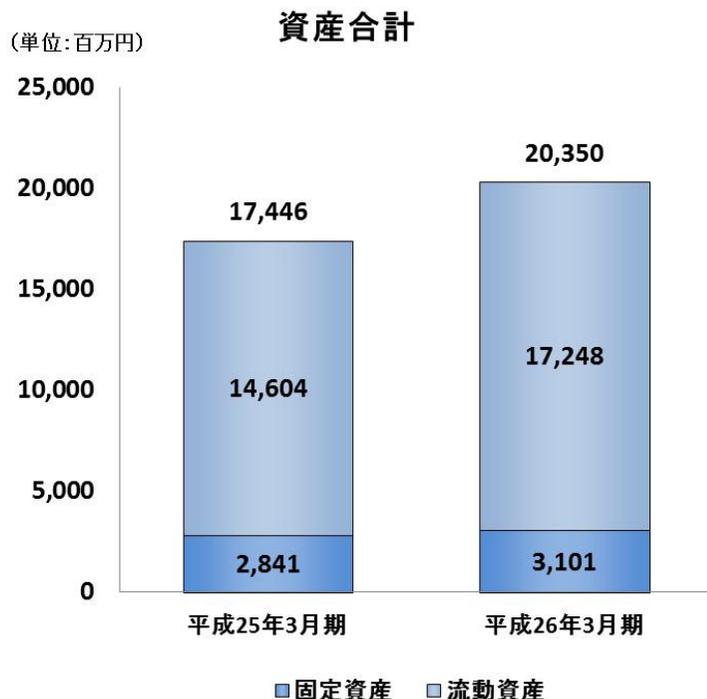
メガソーラー設備の導入が活発となり、関連付帯機器の販売が好調で、建設業向けにパーキングシステムや路面清掃車等の産業車両の販売も堅調に推移し、前年同期比17.6%増となりました。

平成26年3月期半期別業績



※平成26年3月期第3四半期より、東武機器(株)の業績を連結取込みしております。

バランスシート(連結)



平成26年3月期 ハイライト(カッコ内は前期比)

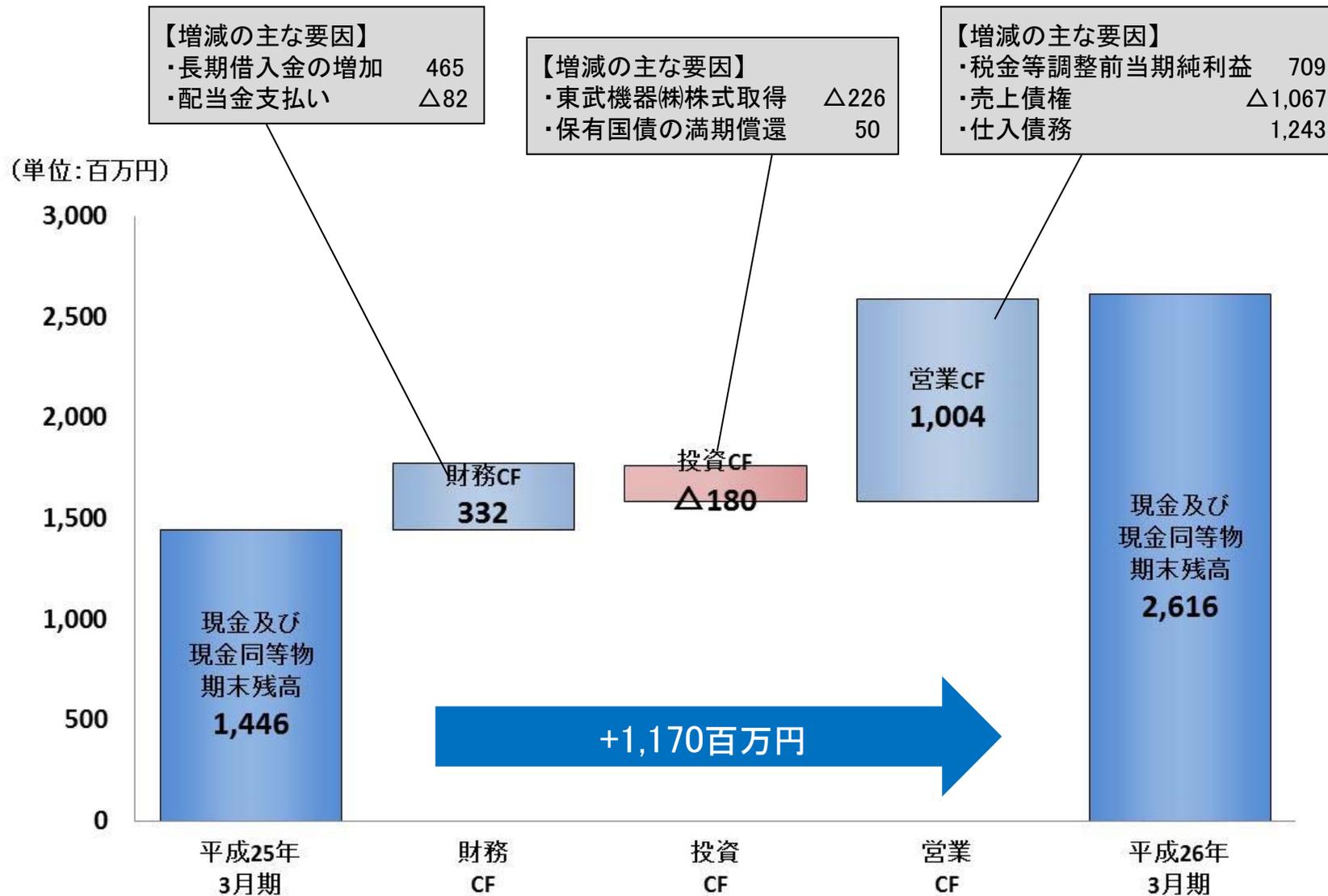
資産

- 【増減の主な要因】
- ◆受取手形及び売掛金 : 13,802(+1,337) 売上高増加
 - ◆現金及び預金 : 2,716(+1,270) 売掛債権の回収増加

負債・純資産

- 【増減の主な要因】
- ◆支払手形及び買掛金 : 10,426(+1,540) 仕入高増加
 - ◆長期借入金 : 1,027(+493) 東武機器(株)取得に伴う借入
 - ◆純資産 : 7,190(+330) 当期純利益による増加

連結キャッシュ・フロー



平成27年3月期 連結計画

平成27年3月期計画

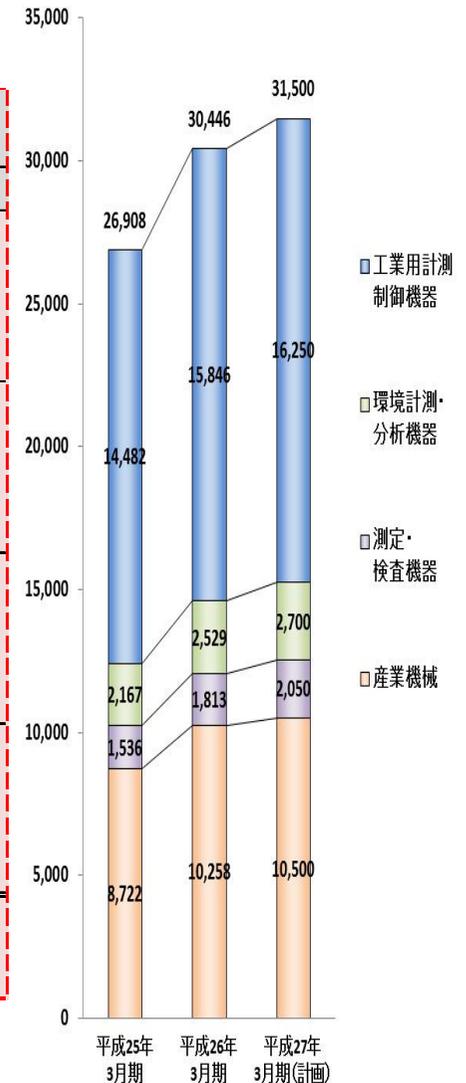
(単位:百万円)	平成26年 3月期	平成27年 3月期	前年同期比	
	実績	計画	増減額	増減率
売上高	30,446	31,500	+ 1,053	+ 3.5%
営業利益	677	730	+ 52	+ 7.8%
経常利益	713	730	+ 16	+ 2.4%
当期純利益	376	385	+ 8	+ 2.2%
1株当たり利益(円)	59.49	59.51	—	—

見通し

- 当社グループの事業領域では、新規設備投資が抑えられ市場が限られていることもあり、依然厳しい価格競争が続いているが、不透明ながらもようやく景気回復の兆しが見えて来ている。
- 底堅い公共投資に加え、今後は政府による設備投資減税政策等の効果で、民間での設備投資意欲の更なる改善も見込まれる為、増収増益計画とする。

品目別売上高計画

(単位:百万円)	平成25年3月期		平成26年3月期			平成27年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	計画	構成比	前年同期比
工業用計測制御機器	14,482	53.8%	15,846	52.0%	+ 9.4%	16,250	51.6%	+ 2.5%
環境計測・分析機器	2,167	8.1%	2,529	8.3%	+ 16.7%	2,700	8.6%	+ 6.8%
測定・検査機器	1,536	5.7%	1,812	6.0%	+ 18.0%	2,050	6.5%	+ 13.1%
産業機械	8,722	32.4%	10,257	33.7%	+ 17.6%	10,500	33.3%	+ 2.4%
合計	26,908	100.0%	30,446	100.0%	+ 13.1%	31,500	100.0%	+ 3.5%



中期3ヵ年経営計画

中期3ヵ年経営計画

- 平成26年度中期3ヵ年経営計画は、経済環境と平成26年3月期業績を元にローリング方式にて新たに策定しました。

平成26年度～平成28年度
経営基本方針

経営資源の有効活用による
新たな成長への挑戦

- ◆当社が保有する「人・モノ・金・情報・技術」等の経営資源を有効活用し、攻めと守りの姿勢を明確にした事業展開を推進し、新たな成長の実現に挑戦。
- ◆既存市場では、ワンストップ販売やエンジニアリング機能強化等付加価値営業を推進。

平成26年度
経営方針

現場力と総合力の強化

- ◆現場における社員一人一人の実行力・変革力・提案力・情報収集力等の力量を強化。
- ◆組織としてベクトルを統一し、結束を高め施策を貫徹する総合力を強化。
- ◆新規事業・市場に迅速かつ積極的な展開を推進し、次世代を見据えた人材の育成とビジネス創造への挑戦。

中期3カ年経営計画



中国市場

経済のグローバル化を
視野に海外展開

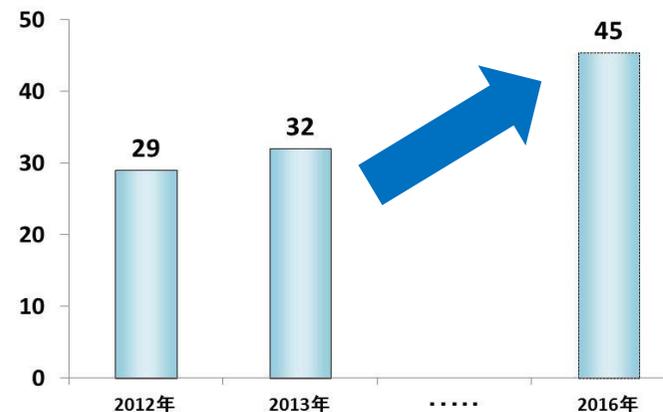
日本国内情報の有効活用による
日系企業への開発営業

現地進出メーカーとの協業

環境整備・自動化・
省力化・省エネ
⇒ 合理化投資へ注力

(単位:百万円)

売上高



【H26年3月期(2013年12月期)】

日系企業の新規設備投資は実施されない中、電力監視システムや発電機等の更新需要を獲得しました。為替の影響もあり、連結業績に大きく寄与いたしました。

【今後】

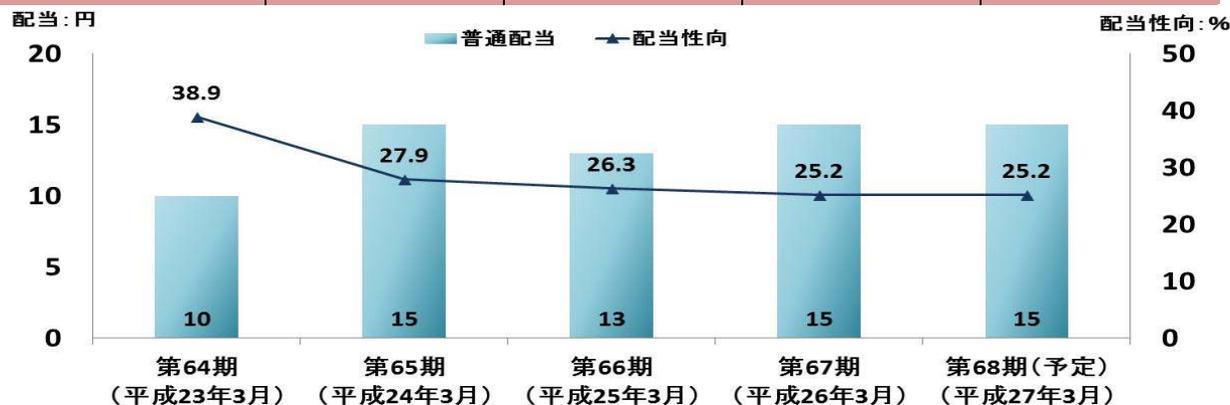
中国経済は外需の低迷や国内の投資抑制などにより減速感は拭えないが、緩やかな成長を維持する見込みであります。国内同様、工業用計測制御機器や環境計測分析機器を中心に販売を展開しつつ、一層の業績の拡大を目指し、新たな販売拠点の開設も検討中であります。

株主還元策

【配当政策】

配当額:1株につき年10円を最低限維持 ・ 配当性向:30%を目標

	第64期 (平成23年3月)	第65期 (平成24年3月)	第66期 (平成25年3月)	第67期 (平成26年3月)	第68期 (平成27年3月)
普通配当	10.00円	15.00円	13.00円	15.00円	15.00円 (予定)
配当性向	38.9%	27.9%	26.3%	25.2%	
株主優待 (500株以上)	クオ・カード (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	
ROE (株主資本利益率)	3.7%	5.2%	4.3%	4.6%	



平成27年3月期予定
年間普通配当
15.00円

第2四半期末:5円
期末:10円

純利益予想:385百万円
配当性向:25.2%

営業施策/注力商品

◆FAシステム、 情報通信・ネットワーク機器

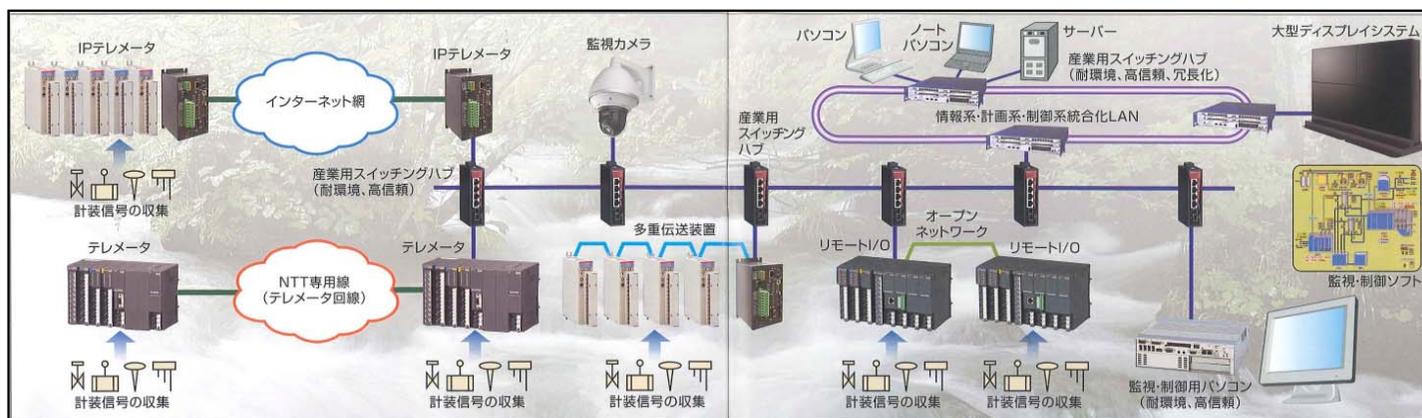
- 測定、通信・監視、受信・表示、
通報、制御機器等幅広い
取扱い商品群
- ネットワークシステムの構築も
対応

◇目的

- ・コンピューターを導入し自動化することで、
省力化や省人化を実現
- ・工場の設備や機器を統合的に管理
- ・効率性や確実性の向上
- ・進捗管理や問題解析が容易

イメージ図

※当社オリジナル
カタログ抜粋



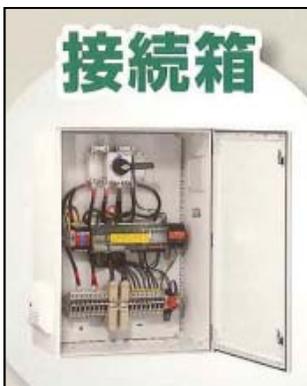
営業施策/注力商品

◆メガソーラー関連付帯機器 (接続箱、監視カメラ等)

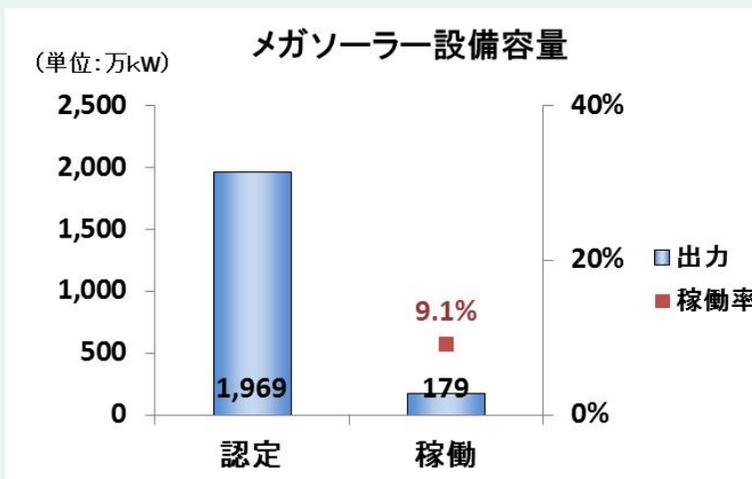
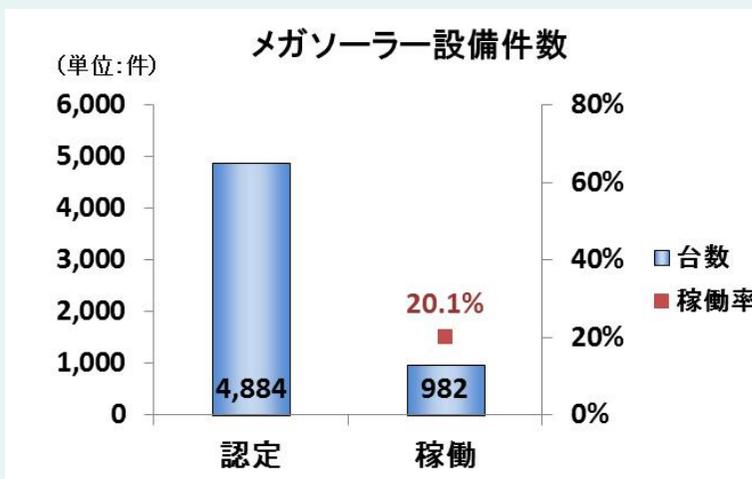
- 電力供給問題を解決する
再生可能エネルギー
- メガソーラーシステムに不可欠な
機器を幅広く取扱い

取扱い商品

※当社オリジナル
カタログ抜粋



【メガソーラー設備状況：経済産業省公表】
2014年2月末時点



◆オイル清浄度管理機器 (ハイスペック ・ハイフローフィルター)

- フラッシング時間を大幅短縮
- 英和オリジナル
- 検証用デモ機もご用意

◇特徴

- ・高精度・高効率かつ大流量濾過が可能なフィルターで、「目標清浄度の達成」及び「フラッシング時間の短縮」に繋がる。
- ・制御盤の国産化、清浄度モニターの搭載により、フラッシングを実行しながら清浄度のモニタリング・データロギングが可能。
- ・タブレット端末にて、リモート操作・監視もでき、トレーサビリティシステムの構築も可。

取扱い商品



■主な用途

- ・大型機械のフラッシング
: 建設機械、船用エンジン、大型タービンのフラッシング等
- ・油機テストスタンドの清浄度管理
: トランスミッション、油圧モータ、油圧バルブ等
- ・大型油圧・潤滑装置の常時濾過
: 破碎機、選別機、プレス機、押し出し機等

営業施策/注力商品(新商品)

◆VRT:バーチャルリアリティ ロボットティーチングシステム

- 旧RevXperts(レブクスペルツ)と
独占輸入販売代理店契約を締結
- 自動車産業市場を中心とした
関連企業をターゲットに拡販

取扱い商品



【RevXperts/独国】

- ◇3D 計測システムのベンチャー企業で、
産業用ロボットのティーチングシステムに
強みを持ち、2012年に世界 最大の産業
見本市であるハノーバーフェア(独国)に
おいてロボット大賞を受賞。
- ◇納入実績は、ドイツの大手自動車
メーカーの他、自動車部品メーカー
が中心。
- ◇2014年3月、VMT GmbHに吸収。

■3Dカメラとティーチング用プローブ、シュミレーションソフトで構成されており、ティーチング技術員が当該プローブにより、物理的にロボットにさせたい動きを再現し、ソフトウェアにて、ロボットのコントローラへプログラムとして展開。

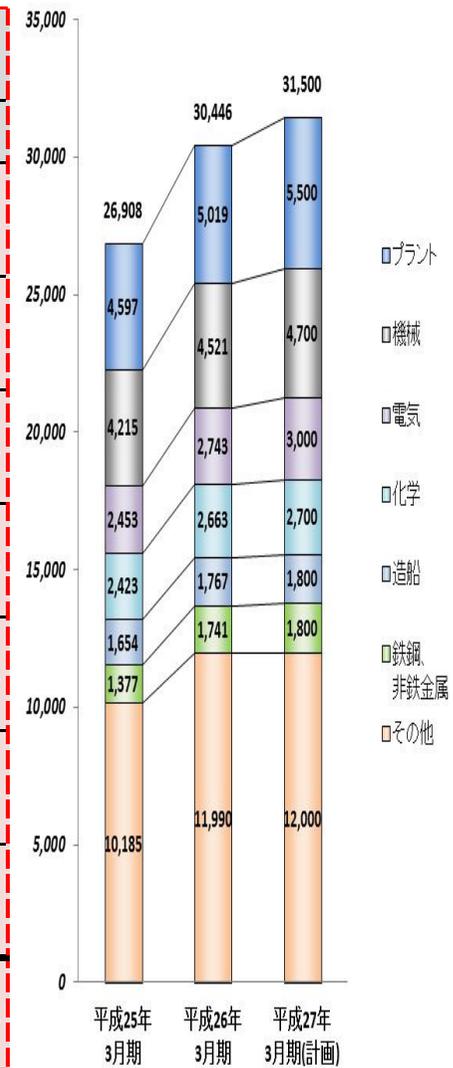
■直感的且つスピーディーにティーチングすることができ、作業時間を劇的に削減(最大90%カット)することが可能。

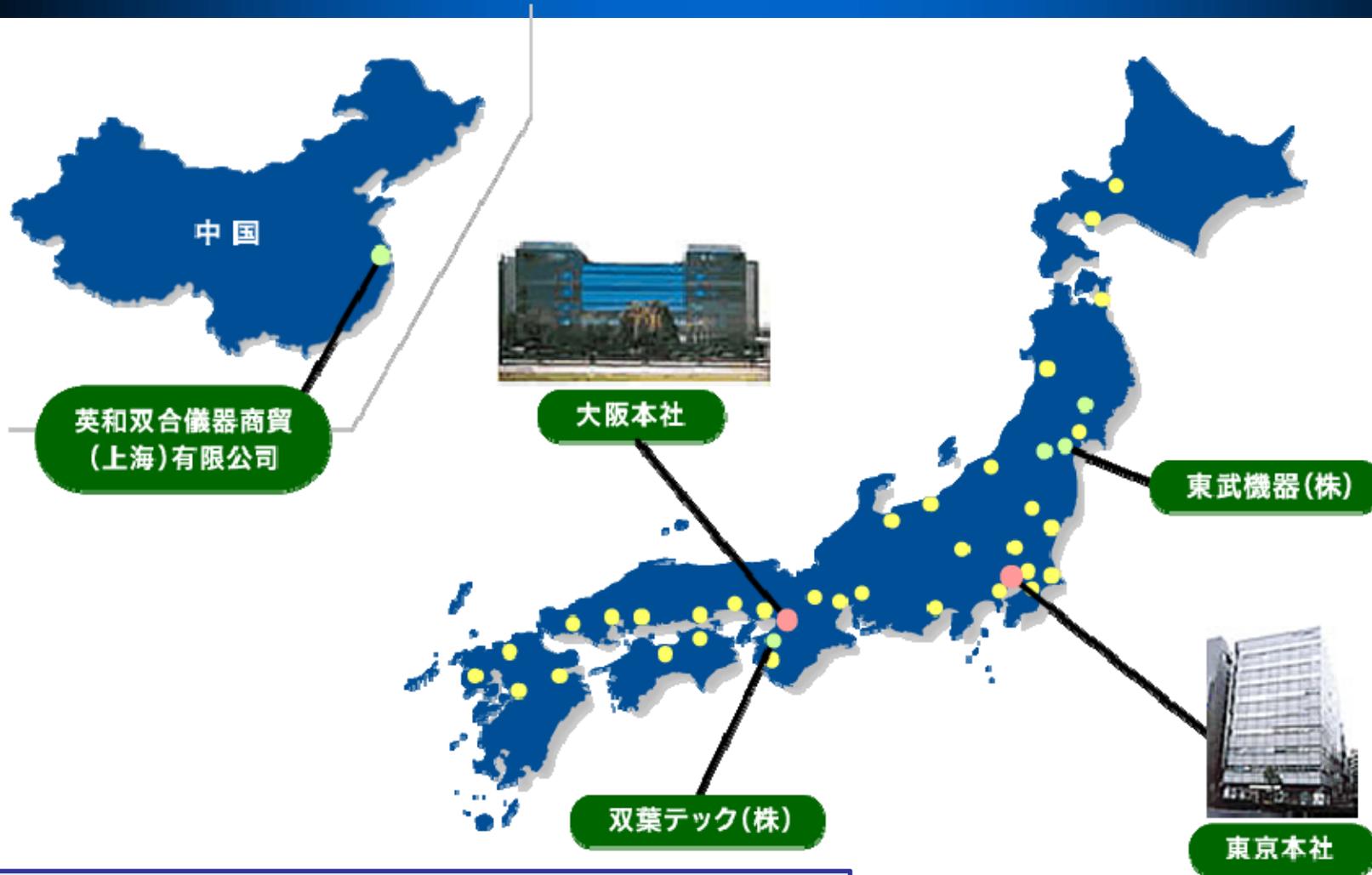
※ティーチングとは、産業用ロボットの動作プログラムを作成する方法のことで、産業用ロボットは、ティーチングにより記録された動作を再生し作業を実施している。

参考資料

業界別売上高計画

(単位:百万円)	平成25年3月期		平成26年3月期			平成27年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	計画	構成比	前年同期比
プラント	4,597	17.1%	5,019	16.5%	+ 9.2%	5,500	17.5%	+ 9.6%
機械	4,215	15.7%	4,521	14.9%	+ 7.2%	4,700	14.9%	+ 4.0%
電機	2,453	9.1%	2,743	9.0%	+ 11.8%	3,000	9.5%	+ 9.4%
化学	2,423	9.0%	2,663	8.7%	+ 9.9%	2,700	8.6%	+ 1.4%
造船	1,654	6.1%	1,767	5.8%	+ 6.8%	1,800	5.7%	+ 1.9%
鉄鋼・ 非鉄金属	1,377	5.1%	1,741	5.7%	+ 26.4%	1,800	5.7%	+ 3.4%
その他	10,185	37.9%	11,990	39.4%	+ 17.7%	12,000	38.1%	+ 0.1%
合計	26,908	100.0%	30,446	100.0%	+ 13.1%	31,500	100.0%	+ 3.5%





- 本社: 大阪、東京
- その他営業拠点: 33カ所
- 当社子会社: 双葉テック(株)、東武機器(株)(仙台北社、山形、岩手)
英和双合儀器商貿(上海)有限公司

取扱い商品群

産業技術の基本となる計測制御技術を安全性・信頼性で支えます。

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポートします。

生産現場で“はかる”

工業用計測制御機器

品質を“はかる”

測定・検査機器

4分野、計1万点を超える

EIWA

EIWAの取り扱い商品。

環境計測分析機器

環境を“はかる”

産業機械

産業と環境を“つなぐ”

【地球環境保全】を重点テーマに環境改善対策に貢献します。

環境との調和に貢献する産業機械のソリューションを提供します。

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: ir-info@eiwa-net.co.jp

URL: <http://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。